

CEL ホームページ

<https://www.og-cel.jp/>

エネルギー・文化研究所 (CEL) の活動内容や
情報誌「CEL」バックナンバーをご覧になれます。

※CEL ホームページに掲載する「読者アンケート」にご協力願います。
下記の二次元コードで読みとることができます。



Facebook ページ

<https://www.facebook.com/osakagas.cel>

note コラム

<https://note.com/ognwcel/>

volume135
September 2024

特集

場づくりのその先へ —— つながりから社会を変えていく

2024 (令和6) 年9月1日発行

発行

大阪ガスネットワーク(株)
エネルギー・文化研究所(CEL)
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町4-1-2

発行人

富尾博之

企画・制作

熊走珠美

特集担当

山納 洋

編集人

日下部行洋 (平凡社)

編集

株平凡社

アートディレクション & デザイン

okamoto tsuyoshi +

校正

(株)アンデバンダン

印刷・製本

(株)東京印書館

お問い合わせ窓口

大阪ガスビジネスクリエイト(株)
TEL 06-6205-4650
FAX 06-6205-4759
CEL@ogbc.co.jp

Research Institute for Culture, Energy and Life
©2024 OSAKA GAS NETWORK CO., LTD.

※禁無断転載複製

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は
必ずしも大阪ガスネットワークの見解を示すものではありません。

CELからのメッセージ

“活きた場”が社会を変えていく

大阪ガスネットワーク(株)エネルギー・文化研究所

所長 富尾博之 Tomio Hiroyuki

Daigasグループでは、2011年より年1回、グループ従業員の社会貢献マインドの醸成を目的に「ソーシャルデザインフォーラム」を開催している。社会課題解決に取り組む社内外の方々に登壇いただく形で継続してきたが、一昨年は「サードプレイス」を、昨年は「場づくり」をテーマに実施している。この2回では、家とも職場とも違うところに、自分らしく心地よく過ごせる「第三の場所」を持つこと、趣味や社会的活動などを通じて得た知見や人とのつながりを本業に活かしていくことの意義について伝えてきた。コロナ禍により出社が叶わず、家=職場という状況が長く続いたことから、職場での仕事とともに社会的活動を再起動させることが必要と考えてのことだ。

今回の『CEL』では「場づくりのその先へ」と題し、人々が集まる場はどうマネジメントすれば“活きた場”となるのか、そこで生まれたアイデアやつながりが社会を変えていく原動力となり得るには何が必要なのかを、現場での実践を重ねている方々とともに考えてきた。ここから得た知見は、多くの「場」で活かすことができるであろう。そして安全・安心な環境をつくり、そこで生まれた関係性や着想を大事にすることは、自分自身、ひいては企業の活性化にもつながっていくと考える。

お詫びと訂正

本誌134号 (2024年3月1日発行) の8-13頁『「広場」を核にした、歩きたくなるまちづくり——富山「グランドプラザ」はなぜ成功したか』において、下記の通り誤りがございました。ご関係の皆様および読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

- ①10頁1段 5行目「『道にして広場、歩くのもくつろぐのも自由』」
→「道にして広場、歩くのもくつろぐのも自由」(『』をトル)
- ②11頁1段 8行目「事務局」→「事務所」
- ③12頁2段10行目「都市の豊かさ」→「都市生活の豊かさ」
- ④12頁2段19行目「今は1週間に」→「開業後は1週間に」
- ⑤13頁1段 7行目「主役となる市町村などの」→「活動の後ろ盾となる市町村などの」